

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-3 災害用資機材の整備	担当課	上下水道総務課
総事業費		157,930千円		事前・中間評価						
計画額	令和元年度(予算額) 32,362千円	令和2年度(予算額) 30,647千円	令和3年度(予算額) 30,575千円	令和4年度 9,100千円	令和5年度 9,150千円	令和6年度 9,323千円	令和7年度 9,150千円	令和8年度 9,150千円	令和9年度 9,323千円	令和10年度 9,150千円
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	①事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行う。 ②各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行う。また、発電機の保守点検を行う。 ③応急給水体制の複層化に向けた検討を行う。 ④給水袋3,000枚の備蓄を行う。 ⑤ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行う。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。 ・応急給水体制の複層化に向けた検討を行います。 ・給水袋4,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検及びリフターの保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭での水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。					
総事業費	91,174千円		終了時評価							
決算額	32,222千円	29,504千円	29,448千円							
達成状況	①応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ②災害用資機材管理台帳を更新した。 ③応急給水体制の複層化について情報収集を行った。応急給水訓練を実施し、関係団体と連携を強化した。 ④給水袋2,000枚の備蓄を行った。 ⑤ボトル水を製造し、指定給水所への配備を行った。また、環境に配慮し、ボトル水をアルミボトル缶に仕様変更した。	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ・ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。ボトル水の製造・配備計画を更新しました。 ・給水袋4,000枚の備蓄を行いました。	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。 ・資機材の点検を行い、不足部品等の購入を行いました。 ・リフター点検を行い、災害時の資機材運搬方法を確認しました。							